カゴメ　ESGデータ

更新日：2024年7月1日

＜環境＞

■温室効果ガス(GHG)排出量の削減
■水の保全
■廃棄物の削減と再資源化
■主な環境負荷の推移

＜社会＞

■雇用状況
■労働状況
■健康管理に関する状況

＜ガバナンス＞

■取締役会
■カゴメコンプライアンスホットライン相談・通報受付件数

＜対象期間＞

2022～2023年度の活動を中心に、それ以前の取り組みや、直近の活動報告も含んでいます。注記がない限り、各年度のデータは1月1日～12月31日の期間での集計を基本としています。

＜報告対象範囲＞

カゴメグループの活動報告を中心に、一部項目では個別のグループ会社の活動についても取り上げて報告しています。

※サステナビリティサイトの開示方針に基づき、海外グループ会社を含む国内外全体に関する報告は「カゴメグループ」、カゴメ株式会社単体に関する報告は「カゴメ」、国内グループ会社全体に関する報告は「国内カゴメグループ」と表記しています。

＜環境＞

■温室効果ガス(GHG)排出量の削減(カゴメグループ)

・Scope１、２のGHG排出量

単位：t-CO_2e

	2020年			2021年			2022年		
	Scope1	Scope2	合計	Scope1	Scope2	合計	Scope1	Scope2	合計
日本	45,295	25,234	70,529	43,773	22,713	66,486	41,419	18,810	60,229
ポルトガル	24,647	4,505	29,152	27,080	540	27,620	25,639	0	10,525
オーストラリア	18,923	11,167	30,090	19,046	9,491	28,537	18,551	10,262	25,639
米国	4,701	4,927	9,627	5,390	5,518	10,908	4,925	5,600	28,813
イタリア	607	1,069	1,676	794	1,187	1,981	952	1,140	2,092
台湾	777	1,672	2,450	969	1,845	2,815	1,010	1,901	2,911
合計	94,949	48,574	143,524	97,052	41,294	138,346	92,496	37,713	130,208

・使用エネルギー構成比

2022年は、35,957MWhの再生可能エネルギー電力の利用によるGHG排出の削減量は8,598t-CO_2eでした。
2022年の全使用電力に占める再生可能エネルギー比率は35.2%でした。

	2020年	2021年	2022年
ガス類	80.7%	80.7%	80.7%
石油類	1.1%	1.0%	1.0%
電力	18.3%	18.3%	17.3%

・Scope3のGHG排出量

	2020年		2021年		2022年		
カテゴリー	排出量 (t-CO_2e)	比率 (%)	排出量 (t-CO_2e)	比率 (%)	排出量 (t-CO_2e)	比率 (%)	備考
①購入した製品サービス	1,078,720	82.0	1,141,154	80.8	1,101,317	81.8	
②資本財	27,333	2.1	43,735	3.1	25,177	1.9	
③Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	27,904	2.1	26,151	1.9	26,302	2.0	
④輸送、配送（上流）	52,974	4.0	51,038	3.6	50,293	3.7	
⑤事業から出る廃棄物	5,031	0.4	12,848	0.9	11,328	0.8	
⑥出張	349	0.0	367	0.0	367	0.0	
⑦雇用者の通勤	1,196	0.1	1,257	0.1	1,253	0.1	
⑧リース資産（上流）	606	0.0	563	0.0	533	0.0	
⑨輸送、配送（下流）	65,706	5.0	74,946	5.3	72,521	5.4	
⑩販売した製品の加工	37,002	2.8	42,670	3	41,827	3.1	
⑪販売した製品の使用	-	-	-	-	-	-	算定対象外
⑫販売した製品の廃棄	16,381	1.2	17,640	1.2	16,109	1.2	
⑬リース資産（下流）	2,038	0.2	262	0.0	119	0.0	
⑭フランチャイズ	-	-	-	-	–	–	フランチャイズ事業の該当なし
⑮投資	-	-	-	-	–	–	投資事業の該当なし
合計	1,315,239	100	1,412,630	100	1,347,148	100	

＜環境＞

■GHG排出量の第三者検証

2022年（1月1日～12月31日）の温室効果ガス排出量について、国内外のカゴメグループ工場（スコープ1、2）及び国内のカゴメグループ（スコープ3）から排出された温室効果ガスの算定方法の妥当性及びデータの検証がISO14064-3:2019に準拠して行われ、検証機関である一般社団法人日本能率協会による検証報告書を取得しました。なお、検証を受けたスコープ1、2のGHG排出量は、カゴメグループの全GHG排出量の約80%をカバーしています。

■GHG排出量の削減(カゴメ)

＜国内工場＞

・エネルギー使用量の推移

	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
使用量	千GJ	852	859	832	831	830
生産量あたり使用量	GJ/t	2.19	2.19	2.10	2.08	1.97

・GHG排出量の推移[*E1]

	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
排出量	t-CO_2e	41,832	41,806	39,899	37,548	34,675

＜営業・管理部門＞

・オフィスでの電力使用量の推移(床面積あたり)

	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
電力使用量	kWh/㎡	159	153	137	132	136

＜物流＞

・CO_2排出量の推移 [*E2]

	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
排出量	t-CO_2	24,900	27,500	28,500	27,600	25,700
販売重量あたりの排出量	kg-CO_2/t	41.6	41.5	41.5	38.7	37.1

E1　第3者検証報告書のGHG記載値（Scope1、2の合計）に変更しました。

E2　行政報告の4月1日～3月31日の期間で計算。

＜環境＞

■水の保全

・取水量と排水量の推移（カゴメグループ）

単位：千t

	2020年		2021年		2022年	
	取水量	排水量 *E3	取水量	排水量	取水量	排水量
日本	3,111	2,654	3,067	2,719	3,101	2,698
米国	212	127	268	183	239	94
ポルトガル	3,673	2,889	4,002	2,948	3,774	3,086
オーストラリア	358	358	330	330	325	325
イタリア	61	51	91	74	116	109
台湾	103	61	110	68	130	68
合計	7,517	6,140	7,868	6,323	7,685	6,380

・水源別取水量（カゴメグループ）

単位：千t

	2020年	2021年	2022年
総取水量	7,517	7,868	7,685
地下水	6,529	6,860	6,683
河川・雨水	165	156	131
海水	0	0	0
水道水	823	852	871

・排出先別 排水量（カゴメグループ）

単位：千t

	2020年	2021年	2022年
総排水量	6,140	6,323	6,380
河川・湖沼	5,391	5,602	5,651
海	0	0	0
下水道	391	391	404
その他(畑の灌漑)	358	330	325

E3　2020年の米国の排水量を修正しました。

＜環境＞

・水ストレスの高い地域の水使用状況（カゴメグループ）

単位：千t

	ポルトガル			オーストラリア		
	2020年	2021年	2023年	2020年	2021年	2022年
総取水量	3,673	4,001	3,774	358	330	325
地下水	3,669	3,998	3,771	0	0	0
河川・雨水	0	0	0	0	0	0
海水	0	0	0	0	0	0
水道水	4	3	3	358	330	325
総排水量	2,889	2,949	3,086	358	330	325
河川・湖沼	2,889	2,949	3,086	0	0	0
海	0	0	0	0	0	0
下水道	0	0	0	0	0	0
その他(畑の灌漑)	0	0	0	358	330	325

・日本国内工場の水使用量と原単位の推移（カゴメ）

	飲料関連工場		食品関連工場		合計	
	使用量(千t)	原単位	使用量(千t)	原単位	合計(千t)	原単位
2020年	2,353	7.4	424	5.5	2,777	7.0
2021年	2,324	7.1	419	5.6	2,742	6.9
2022年	2,348	6.8	386	5.0	2,734	6.5

※原単位は生産量あたりの水の使用量を示す(t/kl)

飲料関連工場：那須工場、富士見工場、茨城工場、小牧工場

食品関連工場：小坂井工場、上野工場

＜環境＞

■廃棄物の削減と再資源化

・食品循環資源の再生利用等の実施率の推移（カゴメ）

	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
食品循環資源の再利用等の実施率	%	98.0	98.2	97.7	97.4	97.8
目標 *E4	%	95	95	95	95	95

・産業廃棄物量と化学物質の大気排出量の推移（カゴメ）

廃棄や大気排出にあたっては、周辺環境の汚染や人への人への健康危害の原因にならないよう、法令を順守し適切に管理を行っています。

2020～2022年において、化学物質の漏洩や基準超過等、環境に影響する重大な事故および違反は発生しておりません。
また将来発生しうるコスト（シャドウコスト）はありません。

			単位	2020年	2021年	2022年
産業廃棄物		排水汚泥 *E5	t	2,223	2,604	2,453
	有害廃棄物	廃油	t	4	38	49
		廃酸	t	3.1	3.1	3.0
		廃アルカリ	t	1.9	0.4	0.4
大気排出		NOx	t	10.0	10.1	10.2
		SOx	t	0.1	0.1	0.1
		化学物質 *E6	kg	1.3	1.5	1.1

※データの対象：　産業廃棄物：国内６工場およびイノベーション本部
NOxおよびSOx：国内6工場　　化学物質：PRTR法に基づき報告義務のある国内1工場

E4　食品リサイクル法では、食品製造業における再生利用等実施率95%を達成するよう目標が設定されています。
E5　排水汚泥は、全量肥料化による再生利用実施。
E6　PRTR法に基づく第1種化学物質の届出量。フォークリフト用ガソリンの使用に伴う、ヘキサン、トルエン、ベンゼンの排出。

■日本国内工場の環境負荷の推移(カゴメ)

Input

区分		単位	2020年	2021年	2022年
原材料の使用量	内容物(生野菜)	千t	27	31	32
	内容物(果汁・ペースト・調味料等)	千t	268	259	249
	容器・包材	千t	32	32	34
エネルギー(電力・重油・都市ガスなど)		GJ	832,120	831,260	830,210
水（用水）		千t	2,780	2,740	2,730

※その他、2022年度のオフィスの電力使用量(床面積あたり)は 136 kWh/㎡ でした。

Output

区分	単位	2020年	2021年	2022年
製品	t	396,700	399,950	421,100
GHG排出量[*E7]	t-CO_2e	39,899	37,548	34,675
生産余剰物量	t	10,970	10,890	10,570
再資源化量	t	10,960	10,870	10,550

※その他、2022年度のロジスティクスにおける大気排出[*E8]は 25,700 t-CO_2、返品等に伴う廃棄物は 542 t[*E9]、オフィスにおける大気排出は 1,950 t-CO_2eでした。

環境会計[*E10] (2022年度)

2022年度は、投資、費用合わせて1211百万円を投入　(単位：百万円)

項目・内容			投資額	費用額
事業エリア内コスト	①公害防止コスト	大気汚染防止、水質汚濁防止、大気・水質の分析・測定など	9	282
	②地球環境保全コスト	CO2削減、省エネルギー、フロン対応など	130	254
	③資源循環コスト	資源の効率的利用、廃棄物再資源化など	74	220
	①②③の合計		213	756
上・下流コスト	容器包装の再資源化委託料など		0	152
管理活動コスト	環境マネジメントシステム運用、環境教育など		0	76
研究開発コスト	環境負荷低減のための研究開発活動		0	8
社会活動コスト	環境美化、公害対策賦課金、関連団体活動費など		0	7
環境損傷対応コスト			0	0
合計			213	998

E7　第3者検証報告書のGHG記載値（Scope1、2の合計）に変更しました。
E8　行政報告の4月1日～3月31日の期間で計算。
E9　返品等に伴う廃棄物については算出方法を見直しています。
E10　環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」を参考に、適切な取り組みを進められるよう、適宜項目を見直しています。

＜社会＞

■雇用状況（カゴメグループ）

・従業員数

		単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
全体	男性	人	1,869	1,901	1,956	1,947	2,024
	女性	人	730	783	866	871	897
	合計	人	2,599	2,684	2,822	2,818	2,921

■雇用状況（カゴメ）

・役員数 *S1

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男性	人	25	22	27	25	25	25
女性	人	2	4	4	4	4	4
合計	人	27	26	31	29	29	29

・管理職数 *S1

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男性	人	306	326	327	317	311	305
女性	人	18	23	26	29	33	38
合計	人	324	349	353	346	344	343

・従業員数

		単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
正社員	男性	人	1,185	1,185	1,154	1,142	1,140
	女性	人	426	456	474	505	514
	合計	人	1,611	1,641	1,628	1,647	1,654
平均年齢		歳	41.2	41.2	41.2	40.4	41.8
離職率 *S2		%	1.2	1.3	1.4	1.3	1.6

・新卒採用

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男性	人	28	22	20	14	24	20
女性	人	32	33	26	27	26	19
合計	人	60	55	46	41	50	39

・キャリア採用

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
男性	人	4	9	10	3	8
女性	人	5	2	6	9	6
合計	人	9	11	16	12	14

※2023年のキャリア採用数はカゴメアグリフレッシュの採用者(男性2名、女性1名）を含む

S1　各年度4月1日時点の集計値。

S2　自己都合退職者の割合。

＜社会＞

■雇用状況（カゴメ）

・障がい者雇用率 *S3

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
雇用率	%	2.80	2.79	2.75	2.89	2.84

・平均勤続年数 *S4

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男性	年	17.1	16.7	17.9	18.4	19.0	19.1
女性	年	12.6	11.9	12.2	12.3	12.2	13.1
合計	年	15.9	15.4	16.3	16.6	16.9	17.1

■労働状況（カゴメ）

・有給休暇取得率 *S5

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
付与日数	日	18.4	18.4	18.1	18.6	18.6
取得日数	日	15.9	15.2	15.3	16.0	15.5
取得率	%	86.2	82.5	84.7	86.4	83.4

・育休取得率

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
男性	%	27.5	29.6	62.5	78.0	69.8
女性	%	100	100	100	100	100

・総労働時間

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
従業員総労働時間	時間/年	1,912	1,892	1,867	1,896	1,895

・平均残業時間

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
労働者の平均残業時間	時間/月	13.0	11.1	12.8	14.5	14.6

S3　国内カゴメグループを対象。

S4　各年度4月1日時点の集計値。

S5　各年度4月1日～3月31日期間の集計値。

＜社会＞

■労働状況（カゴメ）

・男女間賃金差 *S6

		単位	2021年	2022年	2023年
男性の賃金に対する女性の賃金の割合	全労働者	%	66.2	65.4	68.3
	正社員	%	68.6	67.3	70.5
	パート・有期社員	%	87.8	87.6	86.6

・人事部が主催した研修の実施状況

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
延べ研修実施時間	時間	10,625	11,854	13,710	13,374	11,228
社員一人あたりの研修実施時間	時間	–	–	8.04	7.75	6.48

■健康管理に関する状況（国内カゴメグループ）

・健康診断に関する状況

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2025年目標
受診率	%	100	100	100	100	100	100
特定保健指導実施率	%	72.0	84.8	88.7	86.9	85.7	100

・ストレスチェックに関する状況

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2025年目標
受検率	%	95.7	93.3	92.0	93.7	94.1	–
高ストレス者比率	%	7.4	7.6	8.3	7.9	7.0	8.0

・喫煙率の推移

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2025年目標
喫煙率	%	20.8	19.5	16.1	15.1	14.3	12.0

・パフォーマンスに関する指標

	単位	2021年	2022年	2023年
エンゲージメントサーベイ　総合スコア *S7	—	70	70	72
傷病休職日数（全従業員平均）	日	1.62	1.83	2.36

S6　2023年の正社員の年代別差異は50代・63%、40代・78%、30代・84%、20代・102%となっている。
現状40代・50代が中心層である当社管理職に占める女性割合は11.1%（2024年4月時点）であり、差異縮小に向け、長期ビジョンとして掲げている「2040年頃までに各職位の女性比率50%」に則った採用や管理職登用等の女性活躍施策を計画的に推進している。

S7　Webox（株式会社アトラエが提供するエンゲージメント測定・支援ツール）による。

＜ガバナンス＞

■取締役会（カゴメ）

		単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
取締役総数	男性	人	10	8	7	7	5
	女性	人	1	3	3	3	3
	合計	人	11	11	10	10	8
社外取締役		人	5	5	5	5	4
取締役会議長		ー	代表取締役社長	取締役会長	代表取締役社長	代表取締役社長	代表取締役社長
取締役会　開催回数		回	14	14	15	14	14

■カゴメコンプライアンスホットライン相談・通報受付件数（カゴメグループ）

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
国内	件	20	16	15	28	25
海外	件	2	1	0	0	0